

〔専門医による講話〕

- 1 テーマ「思春期の心とからだ おとなになっていくために」
- 2 対 象 町内小学校3校の5・6 年児童、教職員、保護者
- 3 専門医 丸山 真弓 医師
(県立中央病院)
- 4 実施月 12月
- 5 内 容(キーワード)
思春期の心とからだ
妊娠の仕組みと出産、LGBT
SNS、プライベートパーツ、子宮頸がんワクチン



評価(あてはまるものに○をつけ、理由を記入)

①健康課題の解決について

とても有効だった

有効だった

課題が残った

<その理由>

*次世代へ命をつなぐための働きが体に起こり始めていることとその現象について、二次性徴の発現には個人差があることについて

*からだと心の健康・将来の健康のために、10代の無理なダイエットは良くないこと、栄養が必要なこと

*性的少数者は約10人に1人の割合で多様な性の在り方をもつ人がいることや、相手の立場や気持ちを大切にしながら、誰もが安心して過ごせる社会づくりの必要性について

*SNS やプライバシーに関わる問題を取り上げ、心配なことや悩みがあるときは信頼できる大人に相談することが大切なこと、身近な人に話しにくいときは相談機関があること

*子宮頸がんワクチンを接種することで、防げる病気があること

②校内の組織づくりについて

とても有効だった

有効だった

課題が残った

<その理由>

*3年後の義務教育学校設立を見据えて、小学校3校で同じ講演を聞くことができ、今後の指導に活きると感じた。



③校外の関係機関等との連携について(派遣専門医を含む)

とても有効だった

有効だった

課題が残った

<その理由>

*専門医より分かりやすい資料を用意していただき、児童は頷きながら真剣に話を聞いていた。心身の成長のみでなく、現代的な課題となっている SNS を通した被害や LGBT についても取り上げていただいた。大事な内容を、専門医から教わることで、児童の深い学びにつながった。

〔教科やその他の指導との関連性〕

○4年保健体育「体の発育・発達」、4年特別活動「命の誕生」「命のつながり」、5年特別活動「性被害の防止～SNSの危険～」、6年特別活動「自分らしく生きる」と関連のある内容だった。

〔受講者の感想など〕

○産まれたての赤ちゃんの体重が約3100gあることに驚いた。赤ちゃん人形を抱いた時に、体より頭が重いことに気づいた。お母さんたちは、3キロの赤ちゃんを抱えて生活していて、すごいと思った。

○シンデレラ体重という言葉はテレビで聞いたことがあったが、目指さない方が良いと初めて知った。骨を強くできるのは10代の間だけという話を聞き、しっかり栄養を摂って骨貯金をしたいと思った。

○性的少数者の人が10人に1人いると聞き、意外と身近にいることが分かった。いろんな性があることも初めて知り、僕はそれを認め合いたいと思った。